

来週の「売り物」記事はこれ



2012年8月3日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S (ストーリー)」

ヒロシマ、ナガサキの原点

知られざる 米国先住民の「核被害」

朝刊 5日(日)



米ニューメキシコ州北西部のチャーチロック地区。世界有数のウラン鉱脈が眠る一帯は 1940年代に採掘が始まり、80年代まで核兵器や原子力発電所の燃料用ウランが掘られていました。実は、広島と長崎に投下された原子爆弾は、開発段階でこの地のウランが使われていました。現在、廃坑となつてすでに四半世紀以上が経過していますが、放置された残土などからは、今も放射性物質が放出され続けています。元々米先住民の人たちの保留地で、多くの人たちがウランの採掘に従事しました。現在、彼らの健康被害が大きな社会問題になっているといいます。ヒロシマ、ナガサキ、そしてチェルノブイリ、フクシマにつながる「人類悲劇の原点」の地を訪ねて、何が起きているのかについてルポしました。

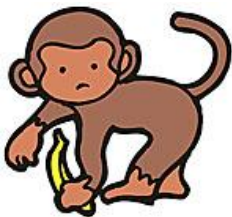


8月は「祈りの月」。平和シリーズ第一弾です。

日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

おいしいバナナの秘密

くらしナビA面 7日(火)



8月7日は「バナナの日」。バナナは国内で最も消費量が多い果物で、日本で売られているものが世界一の品質といわれています。東京・大井埠頭の巨大バナナ倉庫を訪ね、青い未熟な輸入バナナがエチレングスで熟成されていく工程をルポします。黄金に色づいたバナナは甘く、ミネラルなど栄養も豊富。夏のスポーツ時にもお勧めです。

食材の「50度洗い」

くらしナビB面 7日(火)

野菜や果物は水洗いするよりも、50度のお湯で洗うと鮮度がアップします。汚れがよく落ち、葉物もみずみずしくよみがえります。アクやえぐみが取れ、炒め物でもサラダでもおいしい仕上がりに。「50度洗い」を推奨する平山一政さんと、ホウレンソウや鶏肉、アサリなどで効果を試しました。



生きられる社会へ～中間就労 くらしナビA面 9日(木)



生活保護の受給者が過去最高となり、多様な働く場の提供が求められています。神奈川県「ワーカーズ・コレクティブ」では清掃、調理など短時間労働の体験プログラムを開いています。さまざまな事情を抱える受給者が、生活保護への依存を減らしていくには、息の長い就労支援が必要です。

保守色じわり 「自民党野田派」とやゆされる

野田佳彦”どじょう”首相の土壌を探る

夕刊特集ワイド面 6日(月)

オスプレイ配備や集団的自衛権の行使容認など野田首相＝写真＝が保守色強い政策を打ち出している。民主党内からは「新自由主義に対抗して、ヨーロッパ型の福祉国家を目指していたのに官僚に刷り込まれてしまった」という嘆きが聞こえる。議院内閣制では、自民党が長年培ってきたノウハウを真似したほうがうまくいくと学んだのか、どじょうならぬピーマンだから財務省に詰め込まれてしまったのか…。



★ロンドン五輪 後半戦の報道も充実



熱戦が続くロンドン五輪は12日(日本時間13日未明)の閉会式へ向け、後半戦に入ります。3日からは陸上競技がスタート。2大会ぶりの金メダルを狙う室伏広治が出場のハンマー投げ(決勝は同6日未明)や、マラソン(女子は同5日午後7時、男子は同12日午後7時スタート)、ディーン元気らの男子やり投げ(決勝は同12日未明)などが注目されます。日本勢の連続金メダルが期待される女子レスリングは8日から。男女サッカーはいよいよ決勝トーナメントに入ります。毎日新聞の報道も、好評の「ストーリー フロム ロンドン」(朝刊終面でほぼ連日掲載)をはじめ、わかりやすい記事と迫力のある写真でますます充実します。佳境のオリンピック報道をどうぞお楽しみください。